

【作り方説明書】

立矢結び帯の型紙

■詳細対応サイズ ・45cm ソフビ	■難易度 【イージー】 / ノーマル / ハード / ハード↑ / エクストラ
■サンプル使用生地 of 厚み 0.37mm	■用意するもの ・普通～やや厚手の生地 ・接着芯 ・帯締め用の紐 2 本 ・面ファスナー
■手縫い可否 OK	■布に書き出すパーツリスト ①リボン上 1 枚→そのまま 1 枚 ②帯本体 1 枚→ // ③帯揚げ 1 枚→ // ④中心パーツ 1 枚→ // ⑤リボン下 1 枚→ // ⑥リボン中 1 枚→ // 合計：6 枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

立矢結び帯の型紙【45cmソフビ】

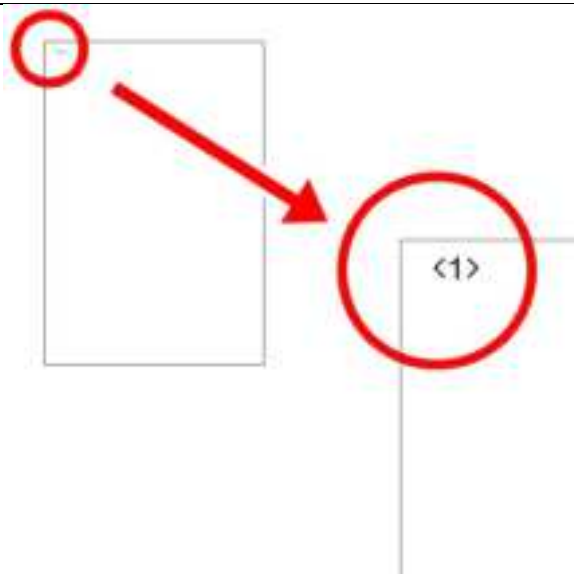
横90cm, 110cm, 140cm



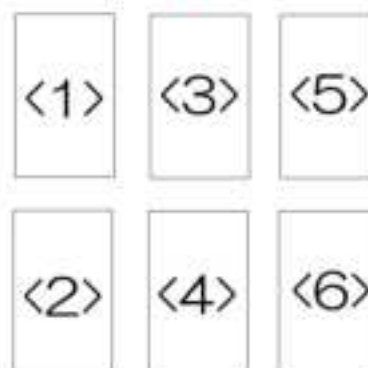
01. 型紙を貼り合わせる

- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
 ※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕



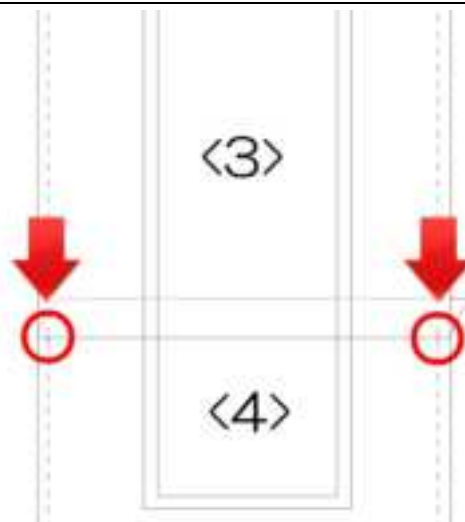
- ② <1>の型紙に記載されている通り型紙を並べる。
 〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

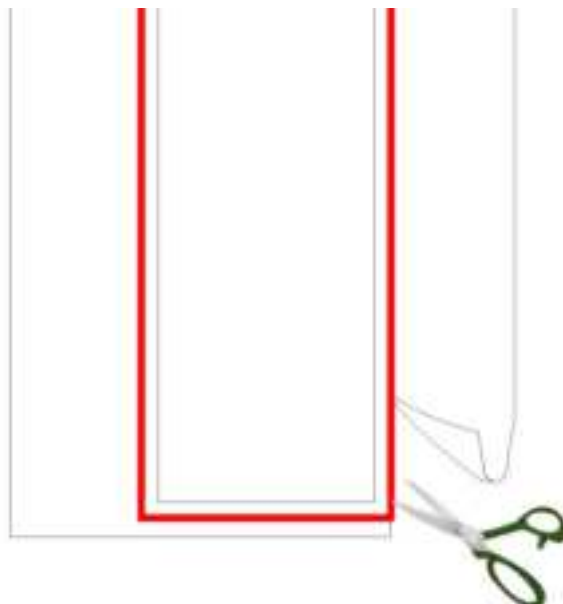


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



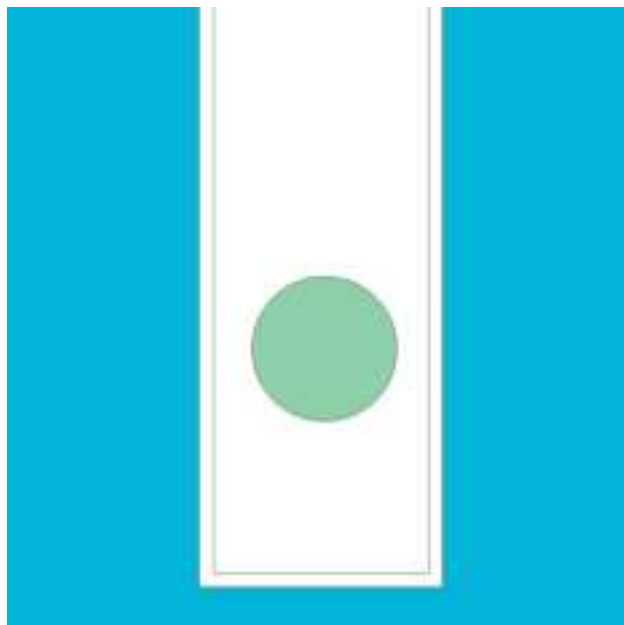
02. 型紙を切り取る。

02～07の右図は全型紙共通で使用
しています。



03. 布を裏にして型紙を置く。

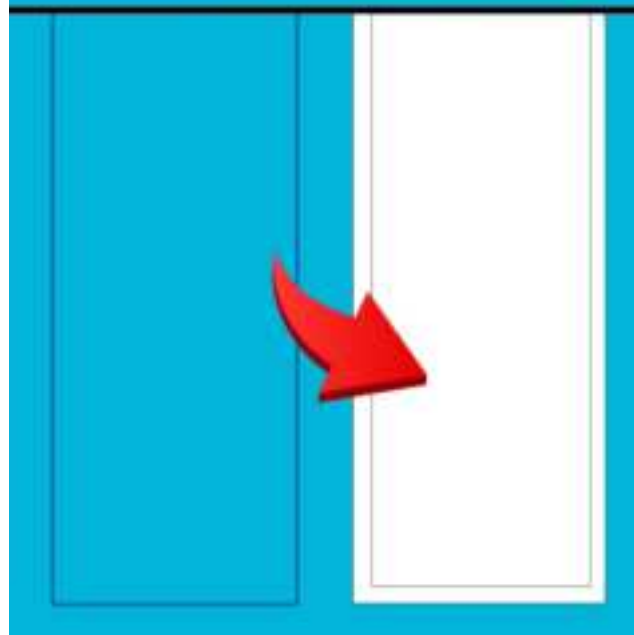
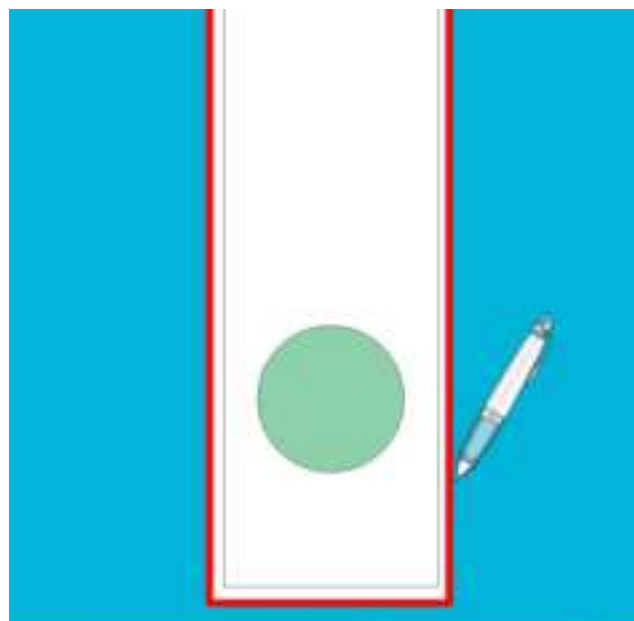
〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕



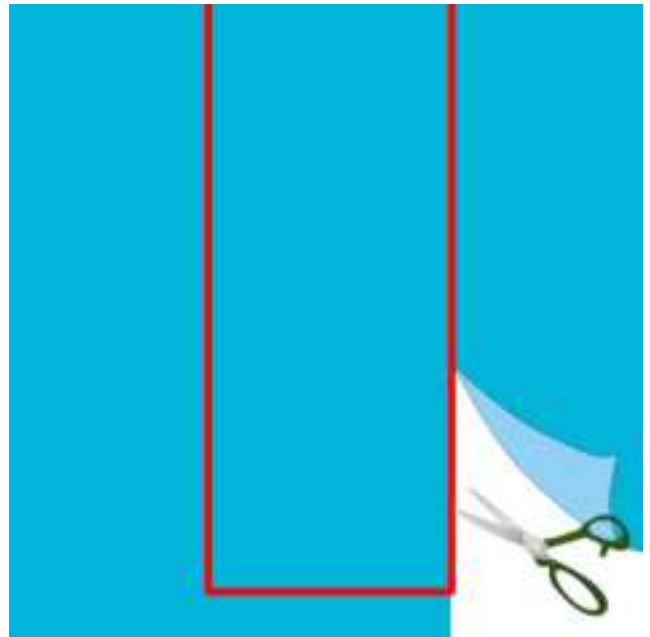
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。

写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

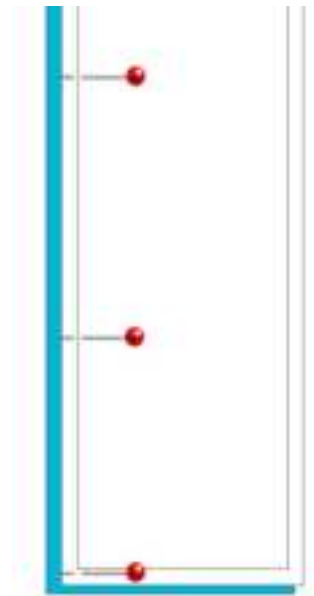


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

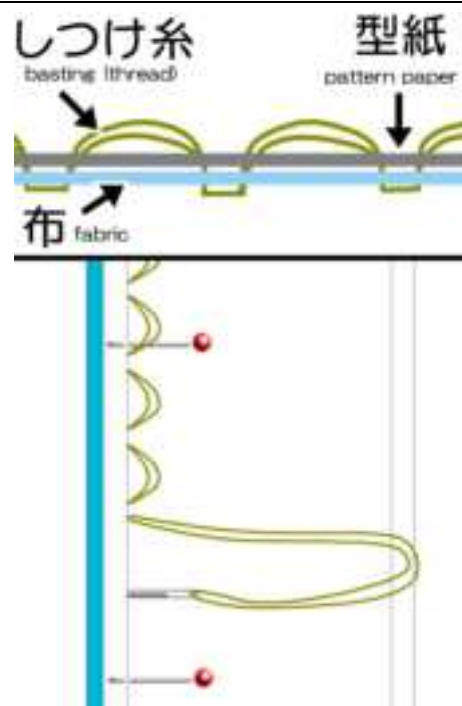
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

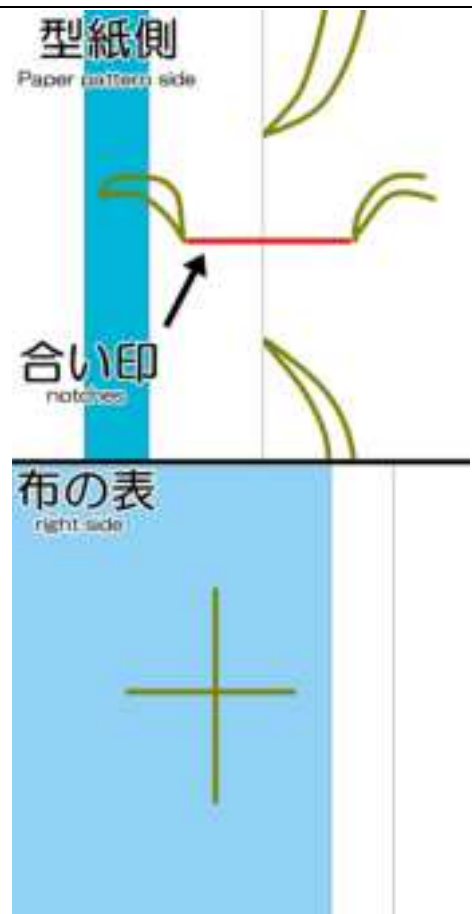
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度
型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても
良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



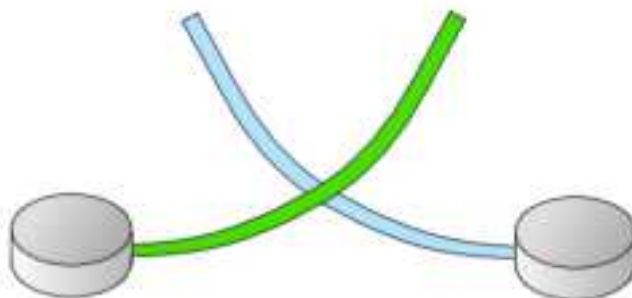
⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



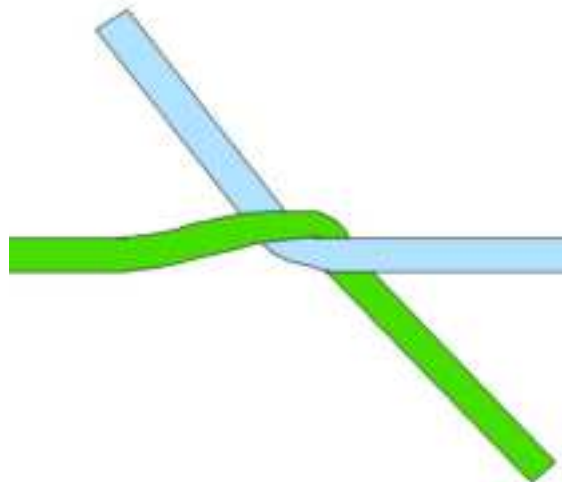
08. 帯締めを結ぶ。

① 帯締め用の紐 2 本の両端を、
動かない様に重り等で固定する。

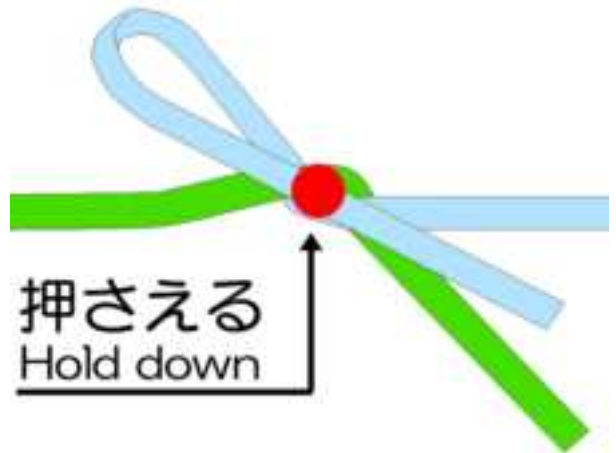
〔紐が動かなければ良いので、
重りはなんでも OK。〕



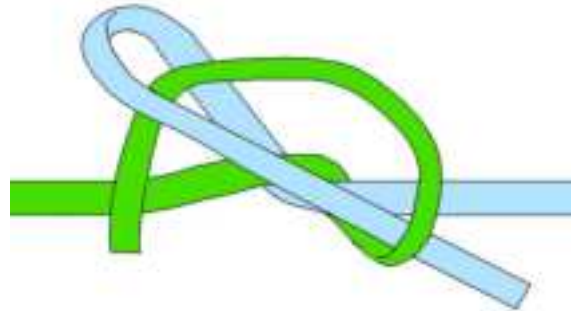
② 左の紐が下、右の紐が上になる様に結ぶ。



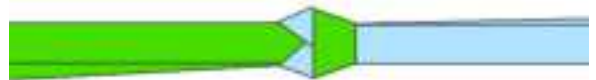
③ 上の紐を下へ折り返し、中心を押さえる。



④ 下の紐を、上の紐の輪に通す。
〔③で押さえた中心はそのまま動かさない。〕



⑤ 紐の両端を引き、形を整える。



09. 帯本体に接着芯を貼る。

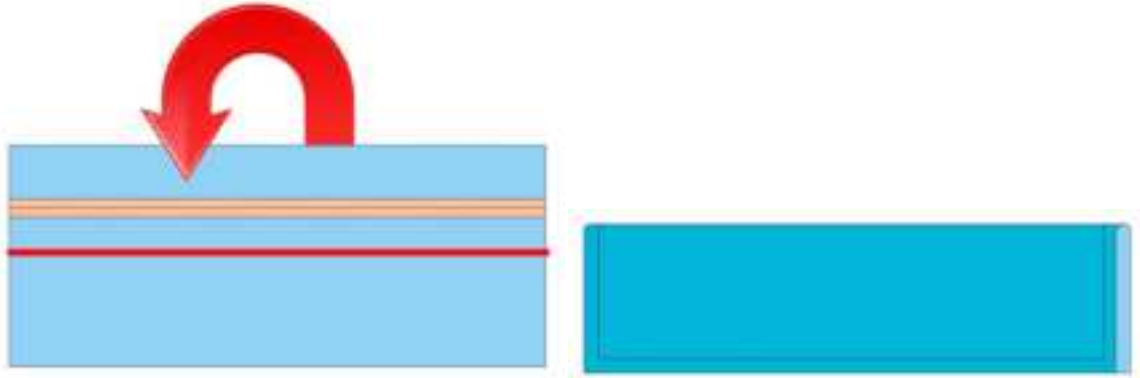
アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。
厚手の生地（人間用の帯など）の場合は、
接着芯は不要な事もある。
使用生地が薄い場合は、
リボン上、リボン中、リボン下、
中央パーツにも接着芯を貼る。



10. 帯締めを帯本体に固定する。



11. 表が内側になる様に帯本体を折る。

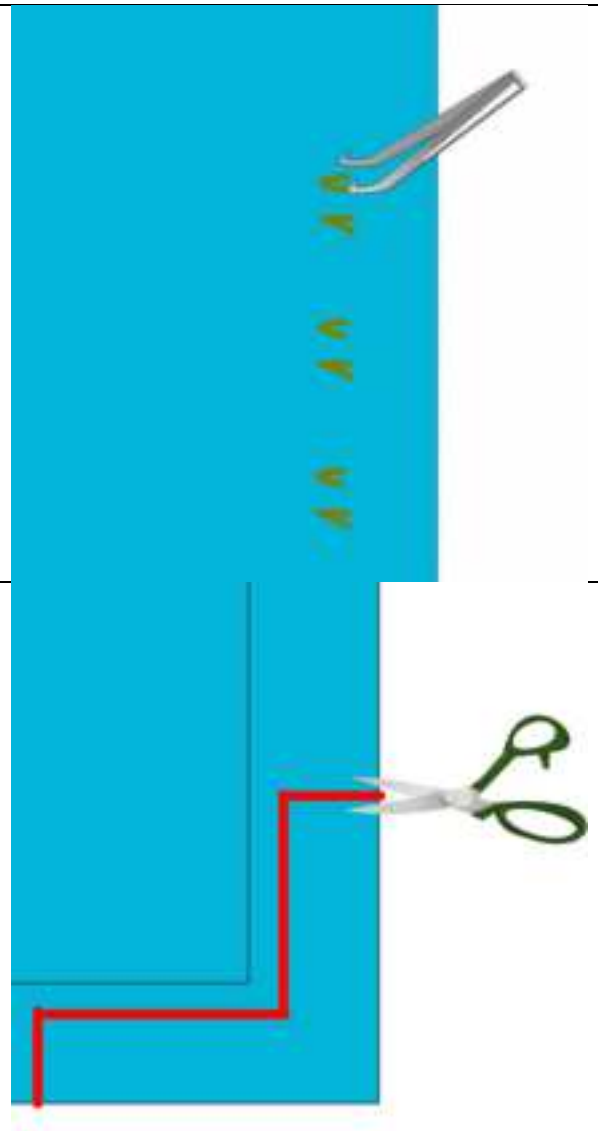


12. 開き止まりまで縫う。



13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

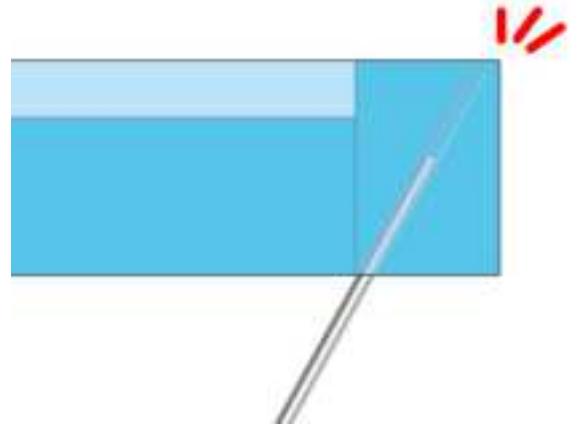
〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



14. 角をカットする。

〔反対側も同じようにカットする。〕

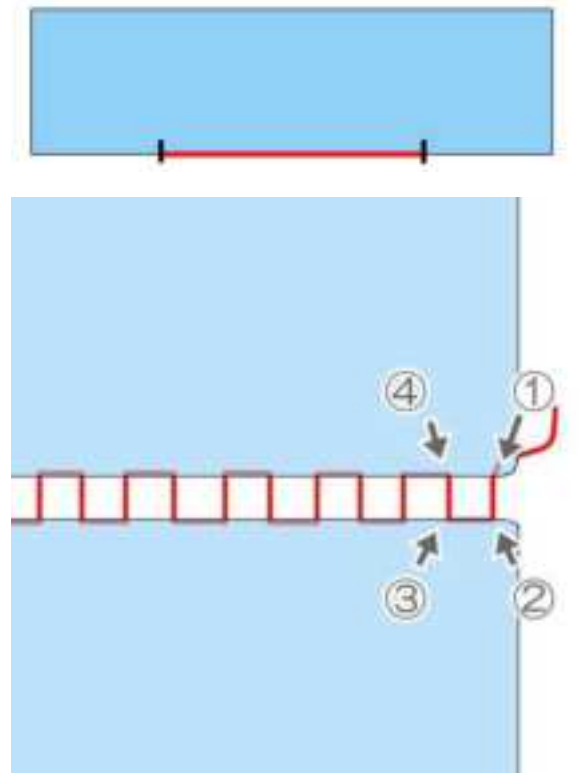
15. 表に返して、太い針の“糸を通す方”
で角を優しく押し出す。
〔 反対側も同じように整える。



16. 開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

〔 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが
違う等のトラブルが起き辛い。



17. アイロンを掛ける。



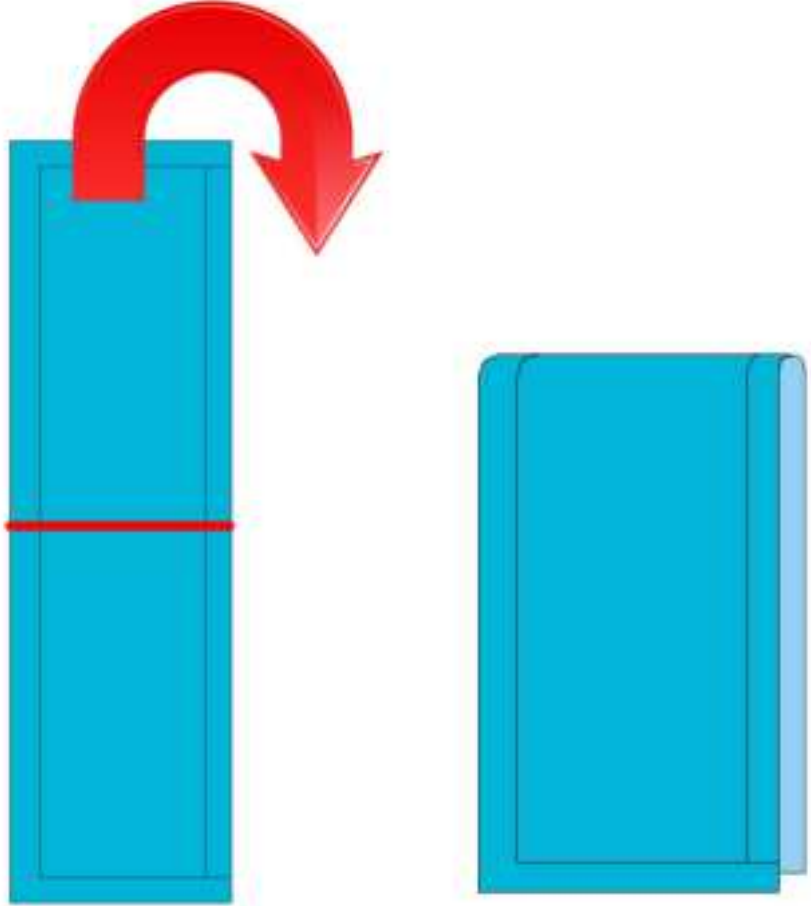
18. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



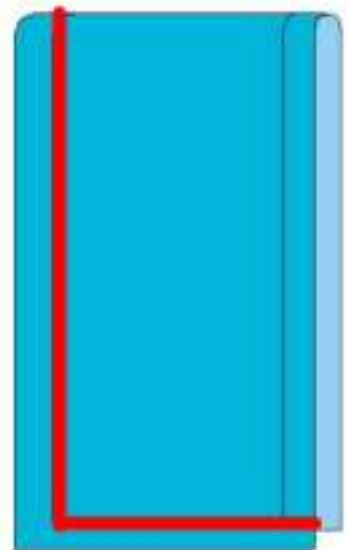
19. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



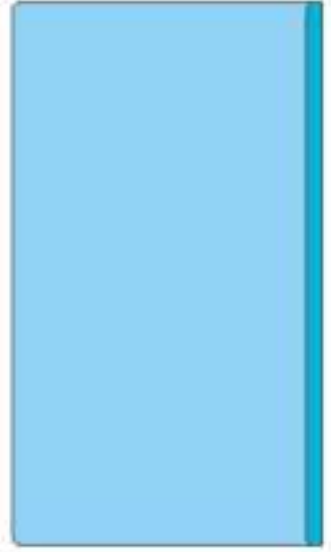
20. 表が内側になる様にリボン上、リボン中を中心で折る。



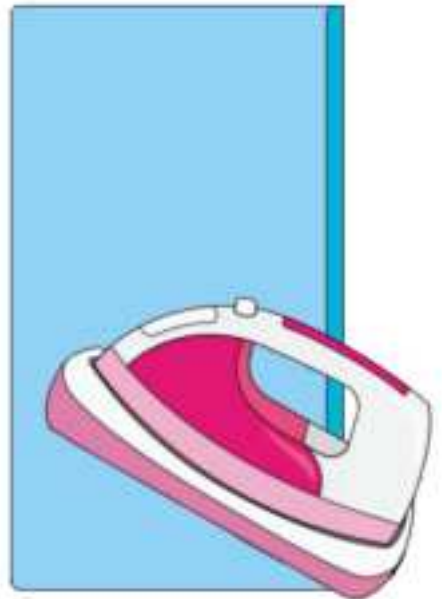
21. リボン上、リボン中をL字に縫う。



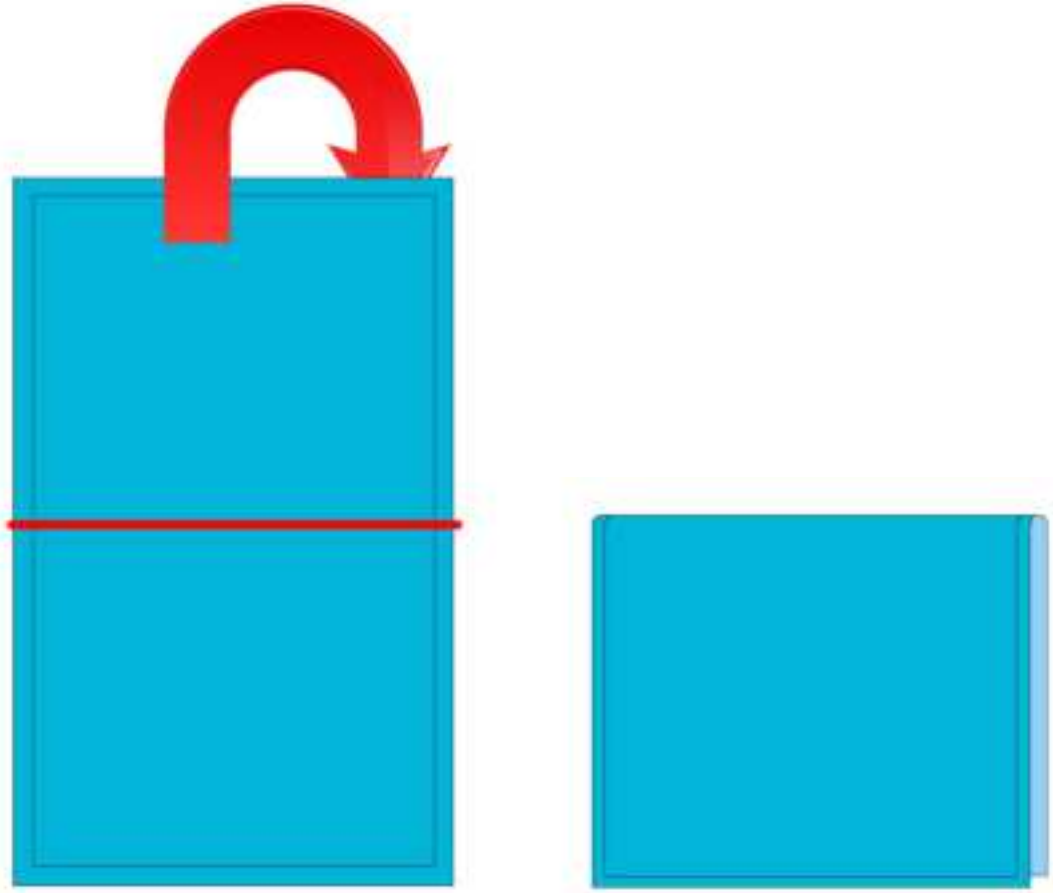
22. リボン上、リボン中を表に返す。



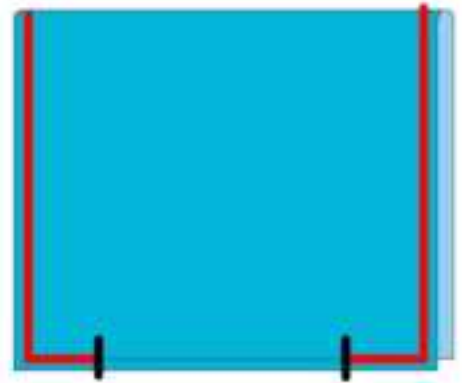
23. リボン上、リボン中にアイロンをかける。



24. 表が内側になる様に、リボン下を中心に折る。



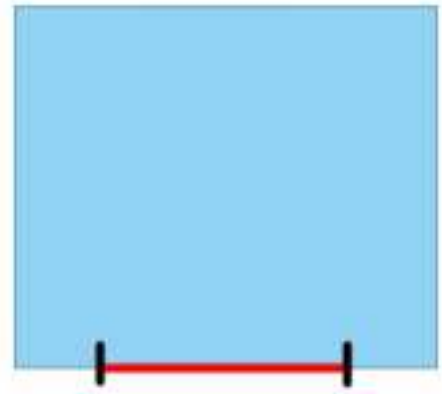
25. リボン下を開き止まりまで縫う。



26. リボン下の角をカットする。

27. リボン下を表に返す。


28. リボン下の開きを“はしごかがり”でとじる。

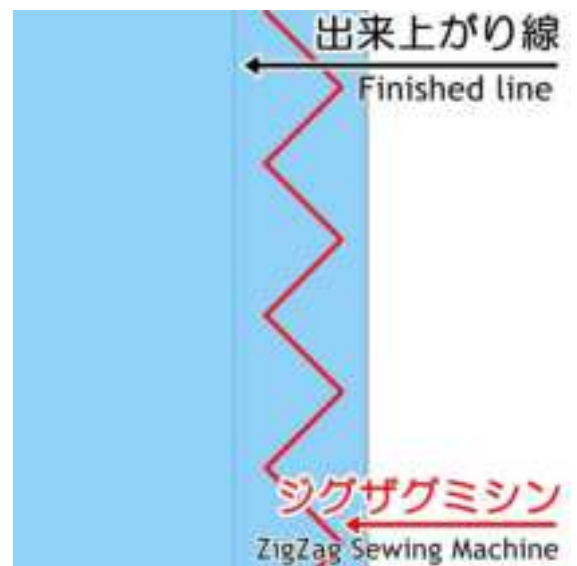
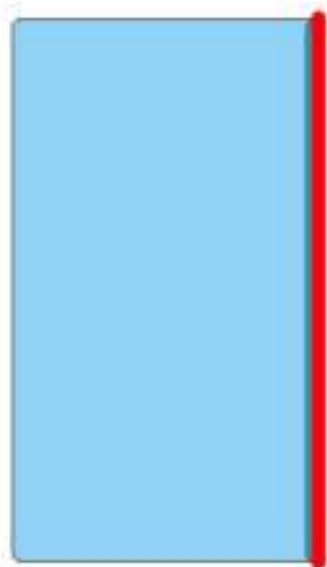


29. リボン下にアイロンをかける。



30. リボン上、リボン中の ☆ に
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
 布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。



31. リボン下を山折、谷折線で折る。



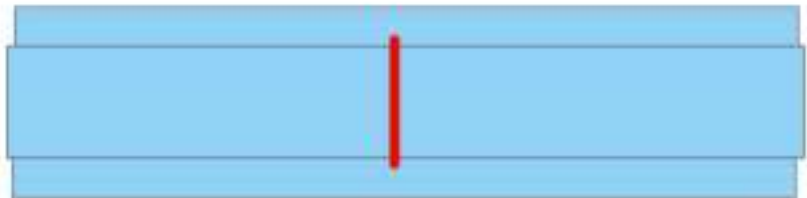
横から見た時
Side view



32. ヒダをしつけ糸で仮縫いする。

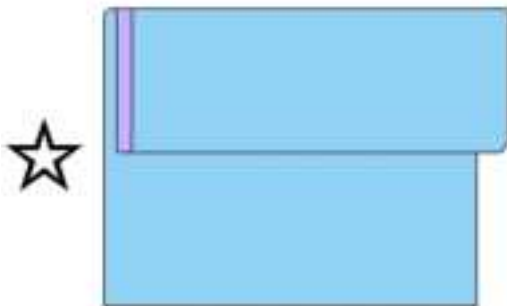


33. 中心を縫う。



34. リボン上、リボン中を山折、谷折線で折る。

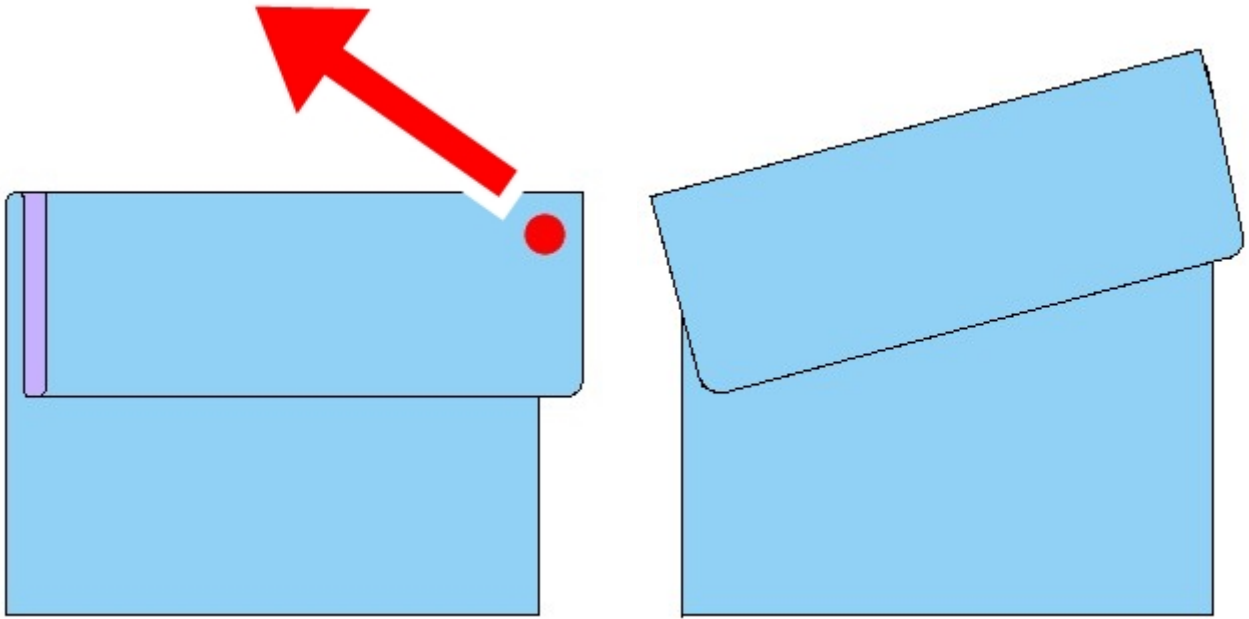
〔 ☆を左側にする。〕



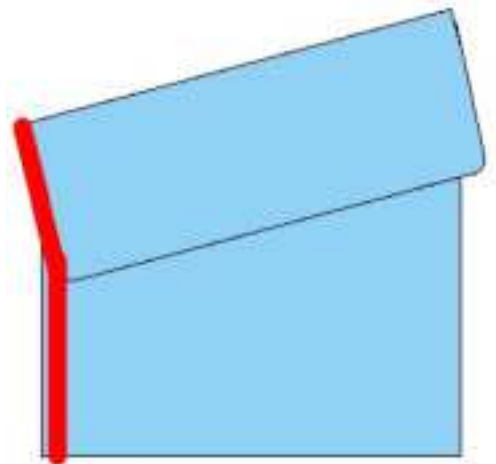
横から見た時
Side view



35. 上の右角を少し左上に動かす。
〔一番上の1枚のみを動かす。〕



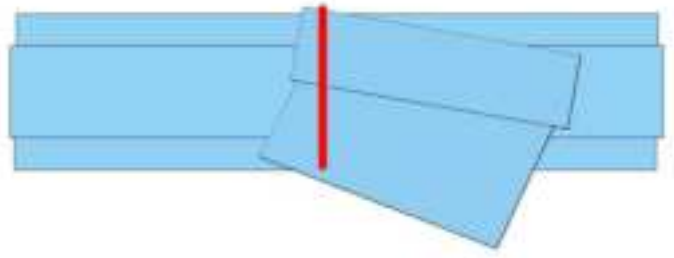
36. ヒダを縫う。



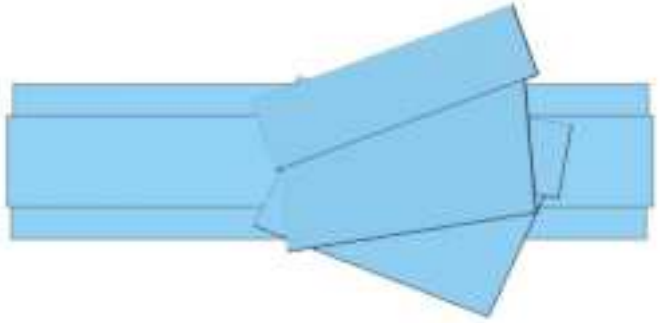
37. リボン下中心にリボン中を合わせる。
〔リボン中の位置は、お好みでOK。〕



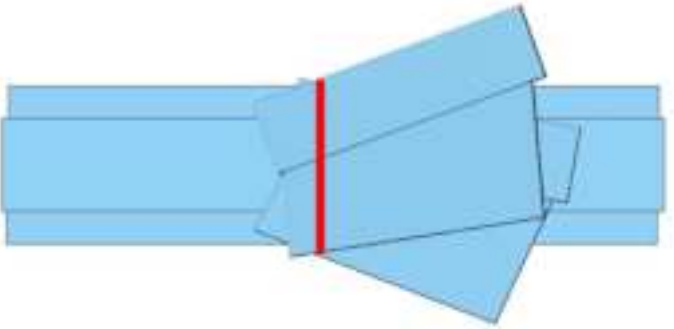
38. しつけ糸で仮縫いする。



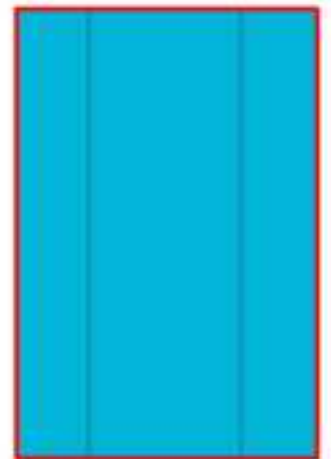
39. リボン下中心にリボン上を合わせる。



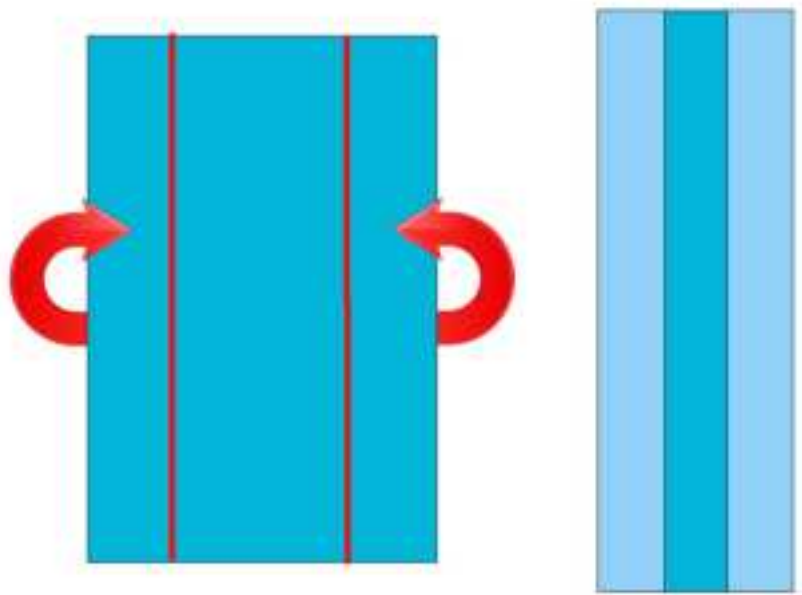
40. リボン上、リボン中、リボン下を一緒に縫う。



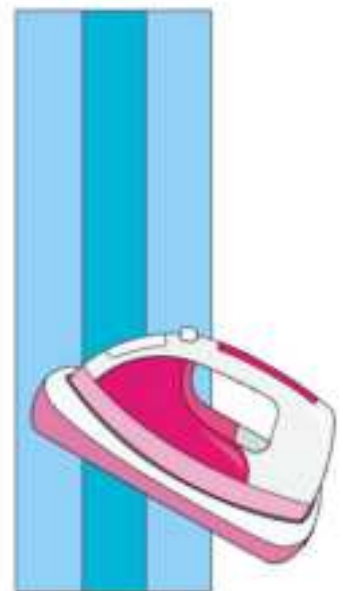
41. 中央パーツの周囲に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



42. 両サイドを折る。

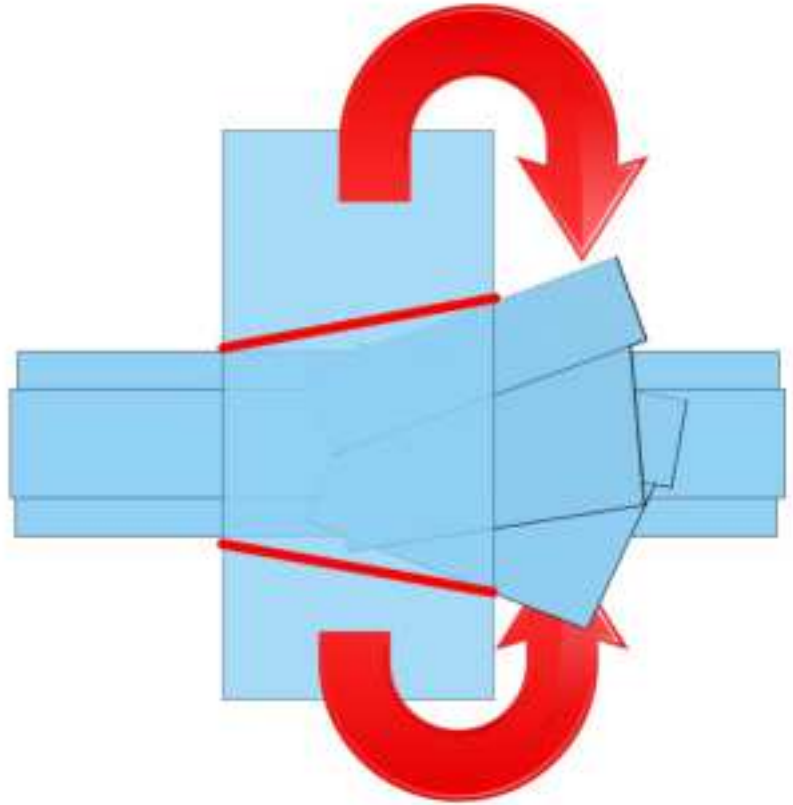


43. アイロンをかける。



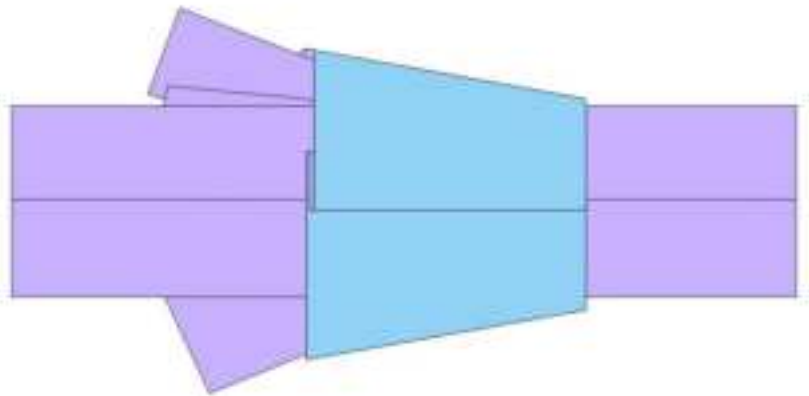
44. 中央パーツをリボンに巻く。

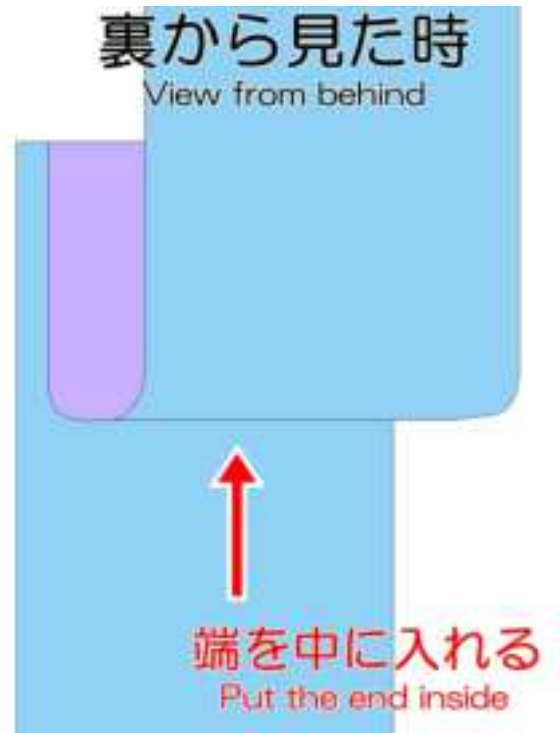
- 上側を少し長めにする。
- 上側の端を中に折り込む。



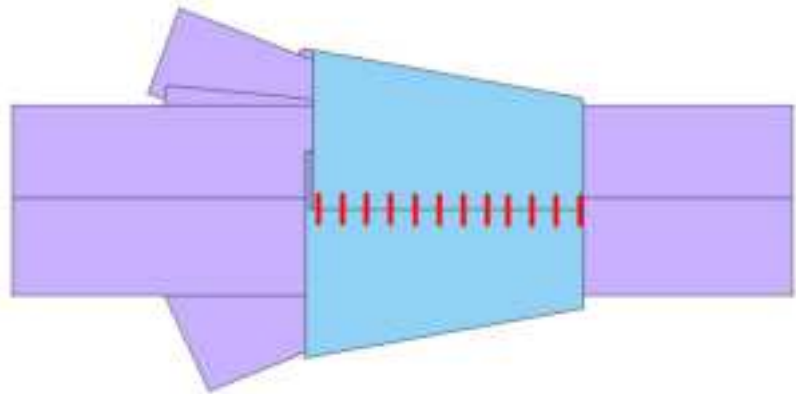
裏から見た時

View from behind





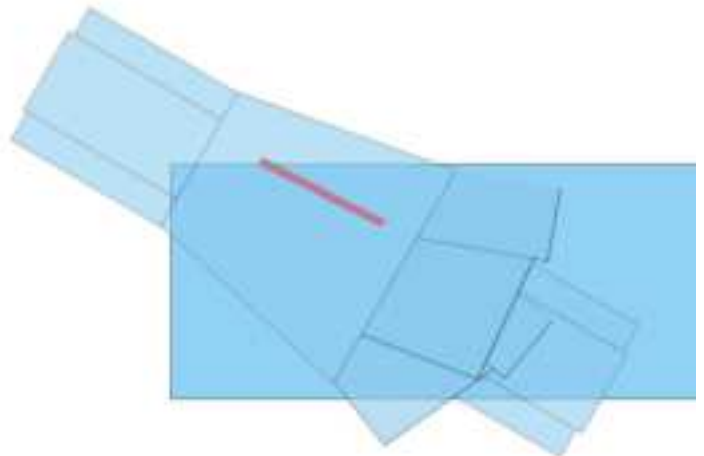
45. 折った部分を縫い留める。

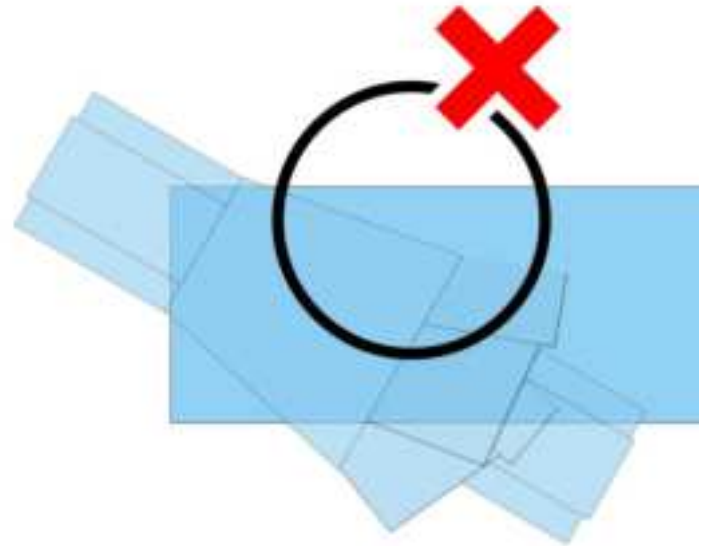


46. 帯本体に立矢結びを縫い付ける。

立矢結びは、帯本体に対し、
左から右へ下がったデザインが特徴です。
立矢結びとして作製する場合は、
斜めにすることをおすすめします。

中央パーツから、帯本体が出過ぎないように
するとバランスが良くなります。

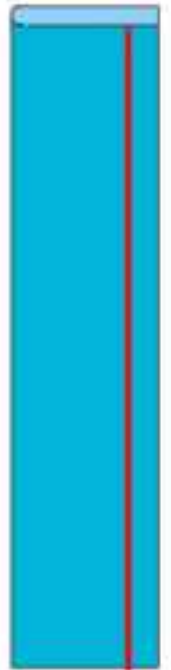




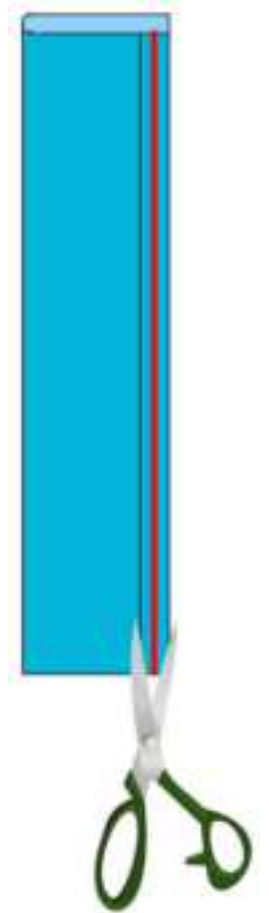
47. リボン下のしつけ糸を取る。

48. リボン上、リボン中、リボン下の形を整える。

49. 帯揚げを表が内側になる様に折り、出来上がり線を縫う。



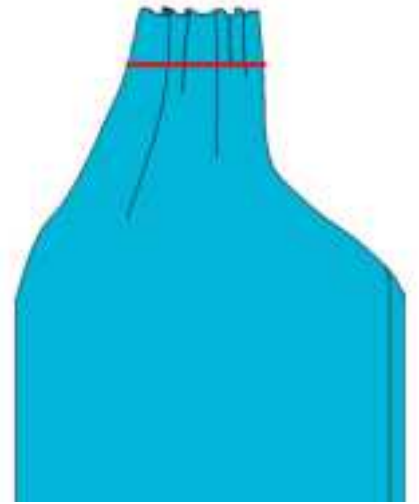
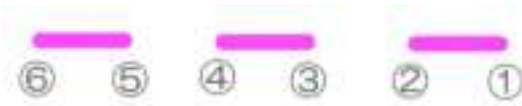
50. 縫い代を半分までカットする。



51. 片方の端を2~3mmの間隔で、
並縫いをして最後に糸を引っ張る。

- 並縫い：基本的な手縫いの縫い方。
- 表と裏両方とも同じ目の間隔で縫う。

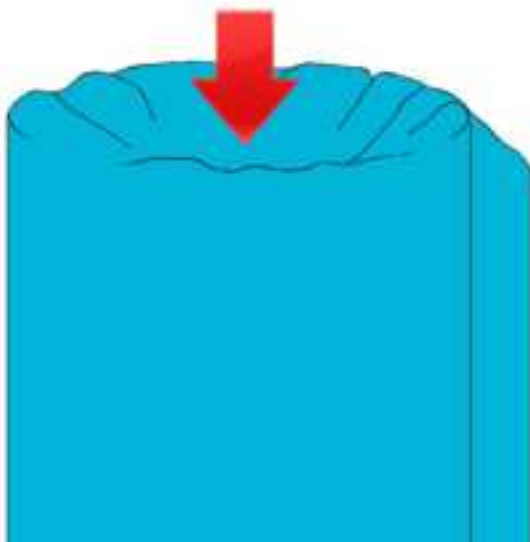




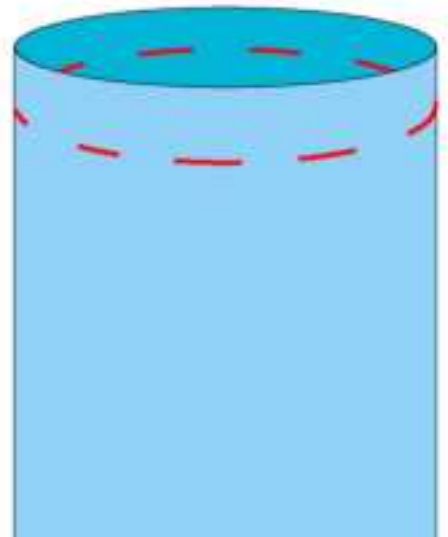
52. 縫ったところを凹ませて、

菜箸や竹串の背などで表に返す。

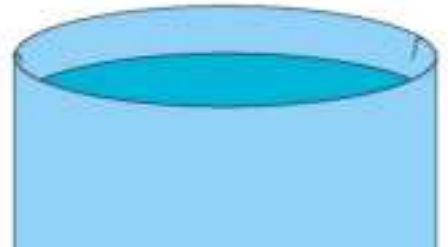
〔 ループ返しやループターナーという、ひっくり返す
道具も売っているのでそちらもおすすめ。〕



53. 残りの端を一周、並縫いをする。
〔糸は切らない。〕



54. 縫い代を内側に折ってから、糸を引っ張って玉止めをする。



お疲れ様でした！